

# 長崎の林業

小曾根星堂書



ながさき森林環境税をPR

5

## 目次

●【特集記事】	広島大学大学院教育学研究科 木村 彰孝准教授 …	2～3
● 林政だより	ながさき森林環境税を使った取組み ……………	4～5
● お知らせ	新長崎県庁舎の県産材家具の紹介……………	6
● センターだより	次世代を担う苗木の生産に向けた試験研究 ……	7
● 地方だより・島原	夏休みの予定は？……………	8
● 地方だより・五島	五島ヒノキの“ウリ”はなんだ!？……………	9
● 長崎県民の森イベント情報・伊万里木材市況	……………	10
● 紹介コーナー	少年山荘 ……………	11
● 長崎の天井絵……………	……………	12



2018  
No.752

木づかい推進で地球温暖化を防止しよう！



この用紙は、日本の森林を育てるために  
間伐材を積極的に使用しています。

FREE

ご自由にお持ち下さい。

「長崎の林業」は、ながさき森林環境税により発行しています。  
「長崎県庁」のホームページ「広報」→「県の発行物」からもご覧いただけます。



【特集記事】



広島大学大学院教育学研究科  
木村 彰孝 准教授 (写真中央)

木村先生は、以前長崎大学に勤務していた際に長崎県内での木育事業に携わり、所属が変わった現在でも長崎県での活動は継続されています。

広島大学大学院教育学研究科、技術・情報教育学講座の木村彰孝准教授は、中学校技術・家庭（技術分野）の「材料と加工に関する技術（木材加工を中心に）」および「木育」に関する教材開発、ヒトの生理・心理・認知計測を用いた木材加工技能の定量的評価、木材の見た目・肌触り・香りと木質空間がヒトの生理・心理面に与える作用に関する研究を行われています。

### 木に興味を持ったきっかけ

木材加工や木育など木に関する研究を行う木村先生は、もともとは数学の先生になることを希望していたそうですが、「技術科」という他の教科で学んだ知識を総合的に生活や社会に活かしていくという、他の教科とは違う異質な分野に惹かれて、現在の道を歩み始めました。子どもの頃から木で何

かを作るのが大好きだった木村先生は、木に関するイベントなどが近所で開催されていた時などには、よく遊びに行っていたそうです。そのような経験もあり、大学に入学後、技術科では金属や機械など様々な分野があるなかで真っ先に木材加工を専門に選んで研究を開始しました。



長崎大学附属小学校での授業の様子

## 木育の活動に至ったきっかけ

木村先生は、長崎大学に勤務されていた時に、大手広告代理店が、「木育」に関する授業を全国展開しようとしていた取組みがきっかけとなり、「木育」に関する活動を始めました。もともとは中学校技術・家庭（技術分野）の木材加工等を専門に研究していたため、それを小学生向けにアレンジして「木育」という形で教材作成や授業を開始しました。

その後、諫早青少年自然の家での「木育」に関係する、子どもたちを対象とした体験活動や資料作成等の企画運営にも参画し、体験学習を行いました。ここでは、小学校4・5年生の集団宿泊体験活動の際に「木育」プログラムとして、森のハウスづくりをしながら木材についての講座、沢登りの途中で人工林や森林の役割について話をするなど、既存のプログラムと「木育」を組み合わせた活動を多く行いました。この活動は現在でも続けられており、諫早青少年自然の家のほかに、長崎大学附属小学校での授業や長崎県内の緑の少年団などでも体験活動をされています。木村先生の「木育」の活動は徐々に広がりを見せています。



委員会内で木工教材を紹介する木村先生



緑の少年団交流集会写真

## 木育の普及に向けて

現在木村先生は長崎県が設置する、「木育」関係外部検討委員会の委員長を務められています。この委員会では、子どもから大人まで幅広い世代を対象に、「木育」活動を推進することを目的として、普及啓発の必要性や方法について検討を行っています。

木育関連としては、小学5年生の教科書で取り扱われていますが、内容は全国向けの為、地元長崎県の情報に記載されていません。そこで、教科書の補足資料として、長崎県情報を組み込んだ、授業で使いやすいワークブックの作成を検討しています。「作る側の意図も大事にしながら、現場で使われるものを作らなければならない」という視点で、現場の先生の意見を踏まえながら、組み立てを行っています。

長崎県情報の記載や、森林に関する様々な体験ができる施設紹介、身近な森や森林組合や製材所などの情報など、木や木材に興味を持って、調べる際にも役に立つワークブックを作り、「木育」の更なる普及啓発に尽力されています。

(NPO法人 地域循環研究所)



## 林政だより

# ながさき森林環境税を使った取組み

長崎県の総土地面積の6割を占める森林は、木材やきのこなどの林産物を供給するとともに、きれいな水や空気をはぐくみ、災害から県民の生命や財産を守るなど県民生活に欠くことのできない重要な役割を果たしています。

森林を守り育ててきた農山村では、過疎化や高齢化が急速に進行し、担い手の減少、林業の採算性の悪化などが原因で、森林を守り続けることが難しくなっています。

そのため、かけがえのない森林を守り育て、次世代に引き継いでいくために、平成19年度から「ながさき森林環境税」（以下、税という）がスタートしました。

個人の方には年間500円を負担していただくなど、毎年約3億8千万円の税収となっています。

これまで、税を活用し、「環境重視」と「県民参加」の視点に立ち、森林の持つ公益的機能の維持向上を図るため、荒廃している森林の整備を行うとともに、森林ボランティア活動への支援を行ってまいりました。

5年ごとに税事業の在り方を見直すことになっており、平成28年度にその検証を行いました。森林の保全と県民参加による森林整備を進めるうえで、税は必要不可欠であることから、平成33年度までの事業継続が決定しました。

平成29年度から第3期目を迎え、より一層森林整備を進めていくため、以下のような取組みを進めています。

### 1. 未整備森林緊急整備

森林経営計画区域内森林のうち、荒廃した人工林を対象とした間伐に係る経費を支援します。

### 2. 環境保全林緊急整備

手入れ不足の森林において、人工林の間伐や里山林の整備などを実施します。

#### ○事業内容

人工林の未整備森林で実施する間伐及び広葉樹林・竹林などの里山林整備を支援します。

集落単位などで、自らが合意形成を図り事業要望を市町におこなって、県（地方機関）が事業を発注します。



整備後の森林

### 3. 森林整備作業システム構築事業

森林経営計画に記載された作業道の開設と、間伐材を計画的に生産するための高性能林業機械の活用を支援します。

#### ○事業内容

- ①森林整備を実施するうえで必要な森林作業道整備経費の一部について支援します。
- ②高性能林業機械のリース費用について支援します。



高性能林業機械の利用状況

#### 4. しまの間伐促進

離島の間伐を推進するため、本土に計画的に出荷する間伐材の海上輸送費を支援します。

##### ○事業内容

船舶輸送 2,000 円/㎡を上限として補助します。



島外出荷状況

#### 5. ふるさとの森林づくり（市町提案型）

市町が行う、税の趣旨に即した地域の独自性と創意工夫による多様な森林づくりや県産材の利用等を支援します。

##### ○事業内容

森林保全の普及啓発、税に関する広報、県産材の利活用、里山林整備などの支援など、税の趣旨に即した事業を対象とします。



小学生を対象とした森林環境教育

#### 6. ながさ木・なごみの街づくり

銀行や郵便局、店舗など県民の目に触れる機会の多い公共性の高い民間施設の木質化、木製品導入を支援します。

##### ○事業内容

補助率：1/2 以内

木質化については、補助金額：50 万円を下限とし、200 万円を上限とします。（ただし、木製品については 100 万円を上限）



県産材を使った椅子

#### 7. 県民参加の森林づくり

県が認めた団体が、税の趣旨に即して実行する事業で、県内全域にまたがる活動について支援します。

第 2 期まで、この事業で活動をしていた緑の少年団や学校などは、「ふるさとの森林づくり」で申請して頂くことになりました。



緑の少年団による活動

#### 8. その他

これ以外にも、森林環境税に関するイベント、周知活動などの広報や、県産材利用拡大のための事業等に税が使われています。

森林環境税は森林を守り育てるための様々な事業に使われていますので、今後ともご理解とご協力をお願いします。

（林政課 計画調整班）





*Wooden Furniture from Nagasaki*

～新長崎県庁舎の県産材家具の紹介～

昨年 11 月末に完成しました県庁舎の玄関を通り抜けると広いエントランスホールがあります。そこには、和める空間を演出する木製家具が設置されています。

この木製家具は、県内の木工業者が県産木材を使用したデザインコンペで採用されたもので、ベンチ、ソファ、テーブル・椅子が設置されています。

そのなかには、長崎とオランダの交流をデザインコンセプトとした楽しいベンチもあります。また、スギの木目を生かした和風なベンチもあります。

テーブル・椅子には、ヒノキの優しい色合いを活かしたものもあり、椅子は重ね合わせることができます。来庁舎の方々によく利用されています。



ヒノキのテーブルと椅子



楽しいデザインのベンチ



スギの木目が特徴的なベンチ

現在、県庁舎の行政棟にはベンチ、ソファ、テーブルなどの県産材の家具が1階、2階、5階、8階に139設置されています。土日や祝日も1階と8階は開いており、子供たちが県産木材のテーブルで勉強しているなど、一般の方々に親しまれています。

最後に県産木材の家具をとおして、多くの方々に県産の木材に親しんでいただき、県産木材の利用が進み、森林と地域が元気になることを期待しています。

●お問い合わせ先  
長崎県林政課森林活用班  
TEL095-895-2988

## 次世代を担う苗木の生産に向けた試験研究の取組について

### はじめに

人工林資源の充実に伴い、県内でも主伐・再造林を推進しており苗木の需要増加が予測されます。現在、農林技術開発センター（以下センター）では苗木関連の取組として成長に優れたエリートツリーの試験とともに少花粉品種の採種穂園整備に向けて森林整備室や県央振興局と協力して取り組んでいるので、紹介いたします。

### 1. エリートツリーの取組について

エリートツリーは、選抜された遺伝的に優れた精英樹同士を交配させ、従来よりも成長や形質に優れた第2世代精英樹であり、下刈り回数の軽減など再造林時の低コスト化が期待されます。九州の他県で行われたスギのエリートツリー植栽試験では3年で樹高が2mを超え、下刈りも3年目で終了した事例もあります。そこで、センターでは以下の取組を行っています。

#### ①「ヒノキエリートツリーコンテナ苗の生産技術の開発」

平成29～31年度の3ヶ年にかけてヒノキのコンテナ苗（根鉢を形成し年間を通して植栽が可能）の施肥試験を実施しており、ヒノキのコンテナ苗の肥培管理におけるマニュアルの作成および苗木生産者への普及を目的としています。

#### ②「ヒノキエリートツリーコンテナ苗現地適応化試験」

平成30年3月に雲仙市と島原振興局の協力を得て、雲仙市国見町の市有林にセンターで育苗した実生ヒノキのエリートツリーコンテナ苗約400本（2,200本/ha）を植栽しました。今後、毎年成長量の調査を行い、同時に植栽した一般的なコンテナ苗と比較して下刈り軽減の効果等を調査します。また、上記植栽と同時期に雲仙市吾妻町に森

林研究・整備機構 森林整備センター九州整備局によりスギのエリートツリーが植栽されています。こちらの試験地も含め、エリートツリーに関しては今後情報共有・提供をしていきます。



植栽時苗高約50cm

### 2. 少花粉品種の採種穂園整備に向けた取組

少花粉品種を造林する場合に補助の対象となる花粉発生源対策促進事業の活用に向け、東彼杵町にある県営遠目採種穂園の整備が進められているところですが、センターでは平成29年度より少花粉ヒノキの母樹となる苗木を接木により育成しています。少花粉スギの母樹については苗木生産者の方によって、さし木により育苗が行われています。少花粉品種の苗木生産の計画については下記の表のとおりとなっています。（※母樹の成長によっては計画通りにいかない場合もあります。また、この計画は長崎県内での計画であり、他県に在庫の余分があれば九州またはその他の地域からの調達を検討しています。）

（農林技術開発センター）

少花粉品種	採種穂園造成	苗木生産開始	出荷可能時期
スギ （特定母樹含む）	2016～ 2019年度	2019年度～	2021年度～
ヒノキ	2018～ 2020年度	2021年度～	2023年度～



-地方だより-

夏休みのご予定は？（島原）



ゴールデンウィークの余韻が残るこの頃ですが、もうすぐ梅雨がやってきます。ジメジメした毎日乗り越えてしまえば夏休みももう間近に迫っています。

島原半島の南に位置する口之津町と加津佐町には白砂青松の美しい海水浴場があります。口之津町の白浜海水浴場と加津佐町の野田浜海水浴場、前浜海水浴場の3つの海水浴場は、穏やかに波が流れるため、小さなお子様連れでも海水浴を楽しむことができ、夏になると家族や友だち、カップルなど海水浴やキャンプを楽しむ人たちがビーチを賑わせています。

また、ご紹介した3つの海水浴場は全国的にも知られており、白砂青松が美しく、沈んでいく夕陽の絶景が楽しめます。ビーチの松林では、キャンプも楽しめるそうです。白浜海水浴場は、環境省の「快水浴場百選」にも選定され碧紺の海と白砂、また、野田浜海水浴場は、日本の白砂青松100選に選定され、約2kmに広がる白砂と松林の日本ならではの風

景を望みながら散策することができます。

前浜海水浴場でも自然環境に恵まれた美しい白砂と松林の風景を楽しむことができますし、シーズンになると売店や海の家がオープンするので、時を忘れて1日中海を満喫できます。

さらに、ご紹介した3つの海水浴場の松林は防風保安林に指定されており、地域を風害などから保全する機能をもっています。私たちの地域を守ってくれる美しいビーチをこれからもずっと守っていききたいものですね。



日本の白砂青松100選 野田浜(南島原市)

(島原振興局 林務課)



—地方だより—

五島ヒノキ材の“ウリ”はなんだ!? No.2  
 ～五島の小さな製材所で出来ること～（五島）

五島ヒノキの内装材の開発に向けて

五島市内の製材所の7事業所が集まって五島材の販路開拓に向けた意見交換を行っています。昨年5月からスタートした意見交換は、2か月に1回のペースで開催され、その結果、『内装材の開発』を進めることが決定されました。

島内には人工乾燥機がないため、天然乾燥による商品開発を進める必要がありますが、天然乾燥だけで木材の含水率を下げるには限界があります。そこで、何か他の熱源を使って乾燥を促進させる方法がないかと5回の協議を行い、アイデアを出し合いました。

温泉水を活用した促進乾燥機の開発

五島には荒川温泉という温泉地がありますが、現在利用されていない余剰な温泉水を熱源に出来ないかと考え、促進乾燥機を開発することとしました。冷凍コンテナの床にパイプを敷いて温泉水を流すという比較的シンプルな構造です。

結果は、上出来です！室内温度は外気温が0℃近くでも30℃以上をキープし、湿度も時間とともに徐々に低下していました。木材の乾燥も天然乾燥では含水率20～30%でしたが、この促進乾燥機を使うと平均含水率9%台まで下げることができました。なお、乾燥機の製作やコンテナ内への木材の搬入は製

材所が協力し合いながら汗水流して進めました。

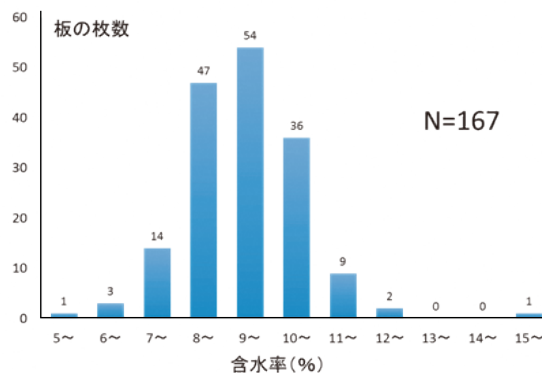
商品化に向けて“光”が見えた！

木材乾燥に詳しい大学の先生に今回の取組を見てもらい、意見交換を行った結果、「ランニングコストのかからない理想的な乾燥機であり、かつ出来上がった製品も色艶・香りともに天然乾燥と遜色ない！」という評価を頂きました。また、県内の工務店からも「五島の内装材をモデルハウスで使ってみよう！」と仰っていただいています。

これまで、五島材の販路開拓について踏み出せなかった一歩を、製材所が協力し、知恵を出し合い、行動することで、大きく踏み出すことができました。今後の展開に期待大です！

（五島振興局 林務課）

促進乾燥後の含水率分布グラフ



温泉水をめぐらす配管（促進乾燥）



冷凍コンテナを活用した促進乾燥機

# 長崎県民の森フォトコンテスト

「50周年記念フォトコンテスト」作品募集について、平成30年11月に「長崎県民の森50周年記念行事」を予定しておりますので、それに伴い「50周年記念フォトコンテスト」の作品の募集期間を延長いたします。  
**テーマ**：「長崎県民の森」内の四季折々の自然風景や生きもの、家族や団体に訪れた人たちが楽しんでいる状況や思い出の一コマ

最優秀賞 1名  
 優秀賞 2名  
 入選 5名



**応募締め切り**：平成30年9月30日  
**写真サイズ**：  
 四つ切、四つ切ワイド、A4サイズ

**部門**：  
 自然部門・「長崎県民の森」内の四季の風景、自然、生きもの等  
 ひと部門・「長崎県民の森」内でのイベント、団体、家族等利用者のスナップ・ポートレート等

**応募方法**：応募票を作品裏面に添付し持参または郵送によること。  
 （応募票や応募の詳細は長崎県民の森HPを参照ください）

**作品の送付先**：  
 〒851-2421 長崎市神浦北大中尾町 693-2  
 長崎県民の森管理事務所（森林館）  
**●問い合わせ先**：長崎県民の森 森林館  
**電話**：0959-24-0181

## 伊万里木材市況

### 【ヒノキ】

平成30年3月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/m <sup>3</sup> )	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	16~18	直	18,900	普通	多い	多い
	16~18	小曲り	17,000	普通	多い	多い
	20~22	直	17,600	普通	多い	多い
	20~22	小曲り	17,000	普通	多い	多い

### 【スギ】

平成30年3月現在

長さ	径級 cm	等級	高値 (円/m <sup>3</sup> )	現在出荷量	現在引合	需要見通
4m	18~22	直	13,000	普通	多い	多い
	18~22	小曲り	11,500	普通	多い	多い
	24~26	直	13,700	普通	多い	多い
	24~26	小曲り	11,800	普通	多い	多い

※情報・お問い合わせは、伊万里木材市場 電話 0955-20-2183 まで



## 紹介コーナー 少年山荘



特定非営利活動法人 少年山荘

電話：0957-47-1254

住所：長崎県東彼杵郡東彼杵町  
平似田郷5-5

URL：<https://www.shonensanso.org/>

MAIL：[info@shonensanso.org](mailto:info@shonensanso.org)



野外活動 ツリーイング体験



木工体験リースづくり

～実体験を通して 生きる力を身につける  
お手伝いをしたい～

体験には、言語を超える力があると考えています。少年山荘の教材、教室、先生は“自然”です。日々の生活とは少し違った方法、あるいは自然の中での複合的な体験のお手伝いを、ものづくり、料理、野外活動に関するワークショップを通して行っています。

根本的な人間の生きる力を身につけることで、人間本来の在り方を見つめ、人間としての視野を広げていく、科学と共存している現在、より発展するであろう未来へと、わたしたち人間の本質を見失うことのない社会づくりを目指し、活動を行っています。

少年山荘の活動としては、木育や食育、野外活動や地域ネットワークづくりなど、様々な分野にわたるのですが、木育などでは、主に木材を使って、ものづくりを学ぶ工作教室を実施しており、ものづくりの道具の知識や基本動作とおもちゃが動く仕組みを学ぶことができます。作った後、動かしながら修理や微調整できることの工夫も遊びを通して学ぶことができます。

長崎の天井絵（長崎市 矢上神社）



今から740年程前、元寇の際に、この地方を守るために神様が矢となって平野の平原<sup>ひらの</sup>というところに降りてきて守ってくださったのが起源とされ、矢の神様の名前から矢神村の地名の起こりとなりました。この地区の人々は矢の神様に感謝して矢上神社をつくっておまつりしたとされています。

矢上神社の拝殿内部の天井は寝殿造りの特徴で折り上げ格天井<sup>おあごうてんじょう</sup>になっており格縁の内部板には江戸から明治・昭和にかけての有名な長崎画人が奉納した南画の絵や書が180枚飾られています。

今号は、八十島又橋<sup>やそしましやきょう</sup>を紹介します。八十島又橋は諫早に生まれ7歳から書をよくし、10歳で漢画<sup>ふく</sup>を学びました。はじめは福田渭水<sup>だ いすい</sup>の門に学びましたが、のちに京都に行き山水画、花鳥画を学びました。諫早に戻り後に当時中国から来ていた清朝の画人、除雨亭に学び、その画風が一辺するほどの大きな影響を受けました。

書画は長崎県立美術館や諫早市の八坂神社の天井絵でもご覧いただけます。長崎を代表する偉人です。

矢上神社は以前からあった天井絵や意匠の一部を残し3年前に改築されました。後世に残るすばらしい木造の神社です。なおご覧になる場合は、社殿へお声かけください。

（天井絵写真は諫早市美術・歴史館より提供いただきました。）



長崎の林業 5月号 第752号  
 編集・発行 長崎県林政課  
 住所：長崎県長崎市尾上町3番1号  
 電話：095-895-2988  
 ファクシミリ：095-895-2596  
 メールアドレス：  
 s07090@pref.nagasaki.lg.jp